

レジメ「教会が一致する方法」 コリント人への手紙 第一 1 章 10 節～17 節

2025 年 5 月 4 日 礼拝

序論

- ・ 先週の学び:「公同の教会」「霊的な富」「主による堅固さ」
- ・ 本日のテーマ:コリント教会が直面していた「教会内の派閥問題」
- ・ 問い:なぜ一致が難しいのか？どうすれば一致できるのか？

1. コリント教会が抱えていた問題:分裂

(1) 発覚の経緯(1:11)

- ・ パウロはエペソ滞在中に、クロエの家の者から教会の争いを聞いた。

(2) 争いの内容(1:12)

- ・ 教会員が以下のように指導者名で分派:
 - 「パウロ派」「アポロ派」「ケファ(ペテロ)派」「キリスト派」
- ・ 問題点:キリストではなく人に目を向けた分裂

(3) 分裂の根本原因(1:13)

- ・ キリストから目をそらし、人に注目すること
- ・ 十字架にかかったのはキリストのみ。バプテスマもキリストの名によって。

● 現代への適用

- ・ 教会分裂の例:
 - 祈りなしの会堂建築
 - 指導者交代による対立
- ・ 教訓:指導者を通してキリストを見上げる姿勢が必要

2. 伝道者の願い:キリストとの結びつき

(1) パウロの感謝(1:14-16)

- ・ 多くの人に洗礼を授けなかったことを神に感謝
- ・ 理由:人間的誇りを避けるため(誰から洗礼を受けたか問題)

(2) 伝道者の真の願い

- ・ 信徒が人ではなく、キリストと結びつくこと
- ・ 例:
 - 牧師交代後も前任に依存
 - 特定の説教者ばかりを好む

(3) パウロの使命(1:17)

- ・ 中心:福音宣教(十字架のことば)
- ・ 十字架の力を損なわないように、「言葉の知恵」に頼らない

(4) 中心的真理(1:18 ※次週の主題)

- ・ 「十字架のことば」は神の力

3. 教会が一致する方法(1:10)

パウロが勧告する4つの一致の原則:

1. 主イエス・キリストの名によって
 - 問題や人ではなく、常にキリストを見上げ、御名によって行動
 2. 皆が語ることを一つにして
 - 同じ信仰・告白に立ち、心を合わせて語る(例:使徒信条)
 3. 仲間割れせず
 - 陰口や別の集まりなどの分派行動を避ける
 4. 同じ心、同じ考えで一致
 - 感情(心)と思考(考え)の両面でキリストにあって一つになる努力
- 参考:エペソ 2:14-16
キリストは敵意の壁を十字架で打ち壊し、二つのものを一つにされた

結論

- 教会の一致は、表面的な和解ではなく「主イエス・キリストの名による一致」
- 人ではなくキリストを見上げ、十字架のもとに立ち返ること
- 互いに赦し合い、心と考えを一つにし続けること
- 多様性の中でも、「キリストの十字架」を見上げて一致を目指す歩みを止めない